

森議員 それでは、私からは2点質問させていただきます。まず1点目は、「町の街路灯及び防犯灯のLED化について」近年、町の街路灯及び防犯灯の老朽化が進み、所々でメンテナンスや交換を必要とするものも多く見受けられます。現在の町が把握している街路灯、防犯灯の数やその種類、設置年数や劣化具合など、分かる範囲でお答えください。環境省では、平成24年度の補正予算から小規模地方公共団体を対象に「地域における街路灯等へのLED照明導入促進事業」をスタートしており、平成28年度には、LED照明導入調査事業、調査及び計画策定費用として4分の3、または、定額（上限600万円、または、800万円を補助し、LED照明導入補助事業、取り付け工事費用として、3分の1から5分の1、上限1,200万円から2,000万円を補助対象になると発表されています。どちらも共にリース方式による導入を前提としたものではありませんが、こういった制度を利用して、街路灯・防犯灯のLED化を進めるかどうか、本町の今後の計画はどのようなになっているかお教えてください。LEDを街路灯に使用するメリットとしてよく言われているのは、長寿命、省エネ、それから虫をあまり寄せ付けないという点です。ただ、省エネという点に関しては、白熱灯や水銀灯と比較すればの話で、LEDが開発された当初は蛍光灯とはまだそれほど省電力に開きはなく、ランニングコストとイニシャルコストを比較した結果、街路灯のLED化を見送る自治体も少なくありませんでした。しかし、この数年、企業の努力で開発が進められ、現在では光の量も省エネも効果がアップしたものが年々登場してきています。それらを踏まえ、現在の街路灯・防犯灯の年間維持コストとLED化後の年間維持コスト、加えて取付費用やリース料金などの見積もりと比較のご提示をよろしくお願いします。2点目は、「AEDの設置や周知、補助について」AEDは、2004年7月に厚生労働省より一般住民も救命の現場で使用する事が認められ、本町でも教育施設や人の多く集まる公共施設等に設置されていますが、町の施設のほか、民間施設に置いての設置場所等把握しているものがありましたら、それを含めてAEDの設置数とその設置場所をお教えてください。また、設置してから、そろそろ耐用年数を迎えるAEDも出てくる頃かと思いますが、メンテナンス等はどのように対応されているのかご説明をお願いします。AEDの設置場所や使用法を広く周知することは、一般住民による救急救命率の向上のため必要不可欠なことだと思います。学校では地元の消防署等と連携し、年1回救命講習会などでAED操作方法を学んでいると記憶していますが、それ以外の民間への周知については、どのようなことを行っているのでしょうか。現在のところAEDが設置されている場所は、公共施設などへの設置がメインとなっており、夜間に町民が使用できるものは一部の者に限られているかと思います。加えて事故の起こりやすい海辺や救急車が到着するまで時間の掛かる地域など、備えとして設置が望まれる場所も、まだ幾つかあると思いますが、今後の安心確保のため、AEDを常備したい自治会や企業等に対して、何らかの支援策はお考えでしょうか。ご見解をお伺いいたします。

榊富議長 福井町長。

福井町長 森議員のご質問にお答えいたします。まず、町の街路灯及び防犯灯のLED化についてですが、議員ご指摘のとおり、現在の白熱灯、蛍光灯、水銀灯からLED灯に替えることは、通常、イニシャルコストは掛るものの、メンテナンス費用や電気代の軽減になることから、町の経費節減だけでなく地球環境の観点からも、いつかは交換する必要があると考えております。さて、牟岐町の現状は、後で担当課長から申し上げますが、イニシャルコストが高額なことから進んでおりません。数年前、鬼が岩屋温泉の照明で、事業者の負担で器具等を変え、電気代の差額を事業者に還元するエスコ事業の検討もいたしましたが、実現には至っておりません。今後、環境省の事業として、調査等が補助対象になり、調査の結果、少しでも牟岐町に利益がでるということであれば、LED化に向け、検討したいと考えています。次に、AEDの設置や周知及び設置支援策についてお答えします。日本では毎年5万人以上が心臓突然死で亡くなっており、その死亡率は、救急救命士制度の充実など救急システムの改善により改善していますが、未だに低い状況にあると言われています。したがって、心臓突然死をできるだけ少なくするためにも、少しでも早く電気ショックを行う必要があります。一般市民によるAEDの使用が求められているとのことです。したがって、牟岐町としては、できる限りの対応をすべきでございますが、現在の状況は、後で、担当課長から申し上げますとおり、役場としての対応が十分でないかもしれません。今後、必要箇所を再チェックするとともに、メンテナンスや町民の皆様への研修等についても、関係組織と計画的に実施して参りたいと考えています。

杣富議長 寒葉建設課長。

寒葉建設課長 私からは、森議員の街路灯及び防犯灯のLED化についてのご質問につきまして、町長答弁の補足としてお答えをさせていただきます。まず、現在の街路灯、防犯灯の数や種類、設置年数や劣化具合についてですが、建設課分の把握している街路灯、防犯灯につきましては、総数が723灯です。内容につきましては、白熱球の20Wが15灯、・40Wが60灯、水銀灯につきましては、40Wが518灯、80Wが5灯、100Wが11灯、200Wが8灯、300Wが22灯でして、定額制、これは請求の方ですが、定額制ということで、この部分が2灯、メータ電気量が10灯、機種不明が26灯がります。あとLEDにつきましては、現在のところ46灯となっています。設置年数につきましては、既に20年以上経過している機具、灯具が多く見受けられるところです。また、牟岐町の現在の年間の電気代につきましては、月平均ですが、約40万円で年間480万円の維持費となっておりまして、修理代等につきましては、年ごとにより上下があり、昨年は約180万円となっています。昨年は台風等が何回か襲来をいたしまして、維持費が増えた傾向にあります。この中でLED化した場合のコスト比較につきましては、40W型での比較ですが、年間電気代でLEDの場合が約2,600円、水銀灯の場合が約3,400円、機具、灯具の

費用ですが、これはLEDが約4万円、水銀灯が約2万円となっています。この部分に対しまして、維持費を含めまして、約15年間で計算をいたしますと、LEDが約67,000円、水銀灯が約84,000円と17,000円の差が生じる計算となります。全体でLED化となれば、約2割の削減効果が出る計算となります。また、光源の寿命につきましては、LEDが約60,000時間、水銀灯につきましては、約12,000時間と約5倍の差が生じることです。町長の答弁にもありましたが、今後予算の許す限りLED化を進めてまいりたいと考えているところです。また、議員ご質問の環境省における街路灯等へのLED化導入促進事業ですが、地域の商店街や街路灯等をリース方式を利用いたしまして、LED照明へ更新し、地域の低炭素化を促進する事業ですが、この事業につきましては、小規模自治体、人口25万人未満の地域を対象としています。自治体につきましては、調査及び計画策定のみでして、LED照明導入につきましては、民間事業者がリース方式等での施行になるとの予定です。さらに要綱等も決定していないということなので、今後、事業内容が固まり次第、町といたしましても検討してまいりたいというふうに考えているところです。

杣富議長 百々健康生活課長。

百々健康生活課長 森議員の質問のうち、AEDの設置状況、維持管理、使用法の周知について、お答えをさせていただきます。現在、把握できている、町施設のほか、民間企業等にあるAEDの設置場所、設置数については、17箇所、19台です。詳しくは、牟岐町役場、海の総合文化センター、牟岐小学校、牟岐町民体育館、旧牟岐小学校体育館、牟岐警察署、出羽島診療所、牟岐少年自然の家、緑風荘、和楽、かいふ農協本所、かいふ農協給油所、阿波銀行、大竹組、牟岐保育園で各1台。県立海部病院、海部消防組合牟岐出張所で各2台、なお、海部消防組合牟岐出張所分については救急車への積載となっています。メンテナンスについては、使用状況、耐用年数、バッテリーの交換時期等、それぞれ違いがあることから、それぞれ個々の管理者での対応となっています。設置場所の周知については、徳島県のホームページに掲載されている徳島県AEDマップがあります。使用法の周知については、海部消防組合牟岐出張所、美波保健所の指導のもと、数回の救急救命講習等の開催を確認しています。具体には平成26年4月3日、牟岐町地域包括支援センター主体で、出羽島漁村センターにおいて、出羽島住民を対象に実施し、31名の参加。平成26年8月6日ほか五日をかけて、牟岐町主体で、牟岐町役場大衆会室において役場職員を対象に実施し、51名の参加。平成26年9月16日、牟岐町社会福祉協議会主体で、出羽島島の家において地区住民を対象に実施し、6名の参加。平成27年1月26日と平成28年1月22日、民主児童委員協議会主体で、海の総合文化センターにおいて、民生児童委員を対象に実施し、計延べ32名の参加です。また、牟岐小学校においては、PTAの合同研修で保護者教員が、牟岐中学校においては、防災クラブが主体で操作方法の習得に努めています。

枡富議長 森議員。

森議員 街路灯、防犯灯は、町民の安心、安全な暮らしを確保するためには、また、AEDの活用と周知徹底は、町民の命を救う、どちらも大切な役割だと思っています。こういう意味で学校や病院の待合室、設置している場所の設備等に提示してもらうなど、町民が安心して暮らせるよう前向きなご検討をよろしくお願いします。